



特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 13日

茨城県知事 殿

提出者

住 所 茨城県神栖市東和田34番地1

氏 名 株式会社ENEOSマテリアル
鹿島工場

工場長 高見 信安

電話番号 0299-96-2510

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ENEOSマテリアル 鹿島工場
事業場の所在地	茨城県神栖市東和田34番地1
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	合成ゴム製造業
② 事業の規模	製品出荷額： 302億円
③ 従業員数	200名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	1) 石綿 ・アスベスト含有製品として、熔融再生処理業者に委託。 2) 廃油 ・焼却処理業者に委託⇒サーマルリサイクル ・再生利用業者に委託⇒エマルジョン化(再生燃料)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別添「廃棄物管理体制図」参照。			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	石綿
	排 出 量	96 t	0 t
	(これまでに実施した取組) アスベスト含有製品として熔融再生業者に委託 金属回収。 ・ヘキサン廃油（廃油発生量の大半を占める）の再生利用について再検討した。含有成分により再生利用処分コストが高くなる事から委託数量は少ない。 ・運転技術の向上により廃油の発生量を低減。		
	96t		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	石綿
	排 出 量	100 t	3 t
	(今後実施する予定の取組) ・特に予定なし		
	103t		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃油類、石綿は他の廃棄物が混入しないように容器に名称を記載して分別、保管することを確実に実施している。		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記品目以外は計画なし。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	石綿
	全処理委託量	96 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	86 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	11 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	7 t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	78 t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・アスベスト含有製品として熔融再生業者に委託 金属回収。 ・ヘキサン廃油（廃油発生量の大半を占める）の再生利用業者への委託を検討したが、含有成分により再生利用処分コストが高くなる事から委託数量は少ない。 ・ヘキサン再生工程に於ける適正抜き出しによる廃油発生量削減。 		

(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	石綿
	全 処 理 委 託 量	100 t	3 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	90 t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	10 t	3 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	5 t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	85 t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・廃油（ヘキサン）発生が少ない合成ゴムの製造を増やす事が削減に繋がるが、ユーザーから発注を受けての製造であるため、計画が難しい。過去の実績から廃油の処分委託量の計画を作成するため、計画に対し実績が乖離する場合もある。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（ 6 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	96 t	
	(今後実施する予定の取組等) ・電子マニフェスト 100%使用。		
※事務処理欄			

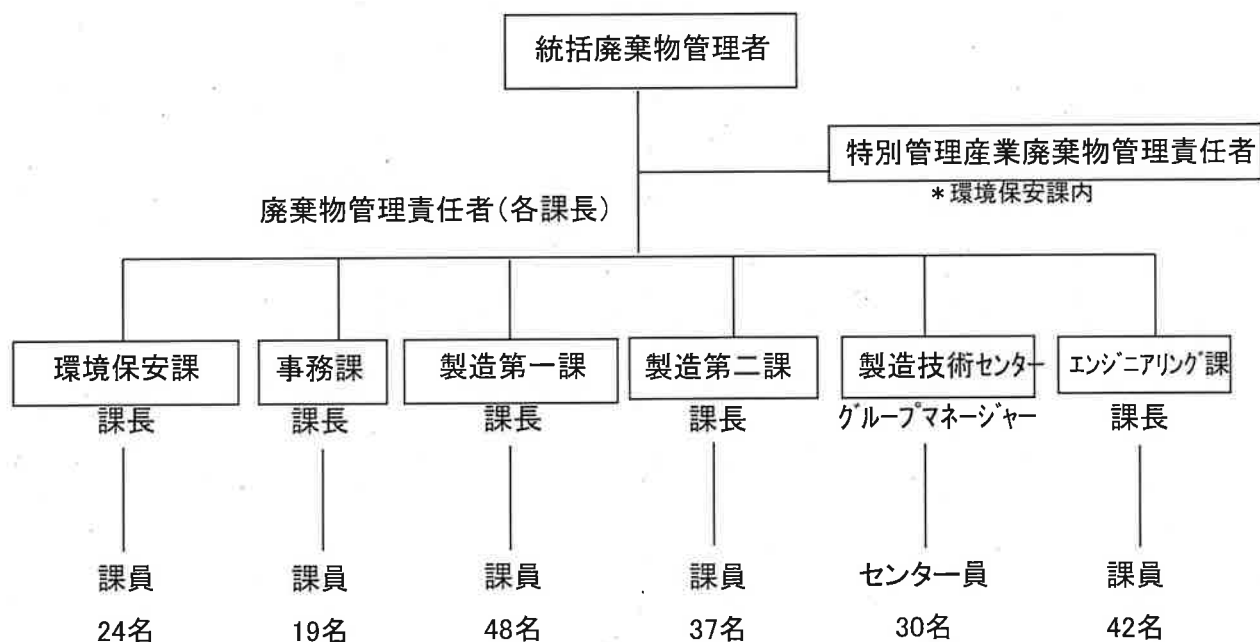
備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

1. 廃棄物処理に関する管理体制

統括廃棄物管理者		工場長 高見 信安
廃棄物管理責任者		各課長
役 割	統括廃棄物管理者	<p>廃棄物管理責任者及び特別管理産業廃棄物管理責任者を指揮し、次の業務を統括管理する。</p> <p>①工場から発生する廃棄物の適正処理に関すること。</p> <p>②廃棄物の減量及び再利用に関すること。</p> <p>③従業員、協力会社への廃棄物教育に関すること。</p> <p>④廃棄物の適正処理のための必要な業務で法令等及び社内規則で定める事項。</p>
	廃棄物管理責任者	<p>分担区域から発生する廃棄物について、統括廃棄物管理者及び特別管理産業廃棄物管理責任者に積極的に協力すると共に、次の業務を行う。</p> <p>①工場の廃棄物適正処理方針を課員に周知徹底を図る。</p> <p>②課内の廃棄物管理方針の設定及び周知徹底を図る。</p> <p>③廃棄物置場の整理、整頓、清掃</p> <p>④廃棄物処理施設の運転管理</p> <p>⑤課員及び協力業者に対する廃棄物に関する指導</p> <p>⑥その他課内全般にわたる廃棄物適正処理上の必要な事項</p>

2. 廃棄物管理組織図



※各課人数は課長及び嘱託(再雇用者)等含む。

計200名